

第20次派遣(新千厩) 9月18日(日)～9月24日(土)

齋藤 陽士さん (新 潟)

白石 恵子さん (四 国)

班長：比嘉 里史さん (沖 縄)

《第20次派遣の3名が出発しました！》 9月18日



《左から齋藤さん、白石さん、比嘉さん》



第19次派遣の兼田さん、友野さん、中西さん、大変お疲れ様でした。
そして、本日からの第20次派遣として、沖縄労組の比嘉 里史さん（執行委員）、新潟
労組の齋藤 陽士さん（青年部執行委員）、四国労組の白石 恵子さん（副委員長）が千厩
ベースキャンプへ向けて出発しました。

連合ボランティアの活動としては、今回の派遣が最後となります。

第20次派遣の3名のみなさん、千厩ベースキャンプの仲間と力を合わせて頑張ってください。

全国の組合員の皆さんからも、熱いエールをよろしくお願いします！



《無事到着しました》 9月18日

第20次の班長をする沖縄労組 比嘉と申します。沖縄からは第8次の吉本さん以来二人目となります。沖縄には台風が近づいていて、飛行機の欠航の可能性もあったのですが、まだ勢力が弱く無事来ることができました。台風の影響は、東北地方にも及ぶということで、今後の天候が気になります。

今日は、バスで連合からここ千厩BCへ移動しました。途中渋滞している区間もあり、予定より遅れましたが、無事18時半頃につきました。ついた頃はあたりは真っ暗になっていて、BCまでの道のりは街灯ひとつ無く、さらに急な登り坂で……。しかし、BCで迎えてくれ案内役のそのださん(連合熊本)の温かい笑顔とオチがないけどおもしろい話に和まされホッとしました。この一週間がんばれそうです！明日からやるぞー！！

一枚目の画像は、移動途中の安達太良SAで撮った画像です。途中休憩を挟みながら7時間半の長旅になりました。

二枚目の画像は、今日の夕飯です。昼弁にもいなりが出てたので、人生で一番いなりを食べた日になりました。

三枚目は、これから同じ4班で活動するTOTOUNIONの加邊さんも含めて撮った写真です。

これから取り組む救援ボランティアは、自分たちの班までで終了し、一区切りとなります。第一次から始まった活動をしっかり引き継ぎ、最後の班としての責任を持ち、進めていきます。

怪我や体調管理に気をつけ、限られた時間の中ではありますが、精一杯やっていきます。

他のメンバーのメッセージは明日アップしますので、また見に来てください。



《いよいよ活動開始》 9月19日



おはようございます。昨夜は蒸し暑かったのですが、今朝はひんやりしています。画像は今朝の千厩BCの風景です。

いよいよ今日からボランティア活動開始です。活動にあたり、4班のメンバーからあいさつです。



四国労組 白石です。台風の影響が心配されましたが、無事三人でベースキャンプに到着しました。早速コメントを頂きありがとうございます。とても心強いです！今までバトンを繋いできた皆さんの思いを私達もしっかり受け止め、比嘉さん、斎藤さんに迷惑かけないように無理せず頑張ります。そしてベースキャンプの近くで一生懸命私達のバスに手を振るおばあちゃんを見かけました。改めてその思いに応えたいと思いました。最後に職場の皆さん、単組の皆さん、お守りをくれた本店の仲間、荷物の準備をしてくれた白石家の皆さん、手紙をくれた静岡労組の中西さん、たくさんの仲間を支えられ、ここに来ることが出来ました。本当にありがとうございます。一週間頑張ってきます！

新潟労組 斎藤です。いよいよ始まりました。にいがたの斎藤です。まず第一に送り出していただいた方々に感謝します。一週間がんばります！それでは初日の報告です。ボランティアは班を単位にすべての行動を行うようです。自分の班のメンバーを紹介します。班長は沖縄の比嘉さん。暑さによわい沖縄人！パソコンには強いらしい（システム部）！そして紅一点の四国（香川）白石さん。うどん大好き、酒はもっと好き！？もう一人、TOTOユニオンの加邊（カベ）さん。昨日は博多を5時出発だそうです！バスの中ではたくさん話をしてもらってありがとうございます！飽きずに長旅を過ごせました。この4人で明日からはボランティア本番です！みんな優しく楽しい方ばかりで安心しました。若い方も多くて賑やかになりそうです！一生懸命がんばります！よろしくお願いします！

最後に加邊さんから4班のメンバーとしてあいさつをいただきました。加邊です。今までは労金職員と一会員組合の役員でしたが、これから一週間は、働く仲間として、全労金さんの仲間に入れてもらい、足を引っ張らないようにがんばります！

心強い4班のメンバー、そして千厩BCの18人の仲間、1週間がんばっていきます。（沖縄労組 比嘉）

《作業報告》 9月19日



《作業前と作業終了あたりの様子》

ボランティア初日のにいがた斎藤です。BC初夜の昨晚はとても蒸し暑かったです。しかし、外から虫達の美しい合唱が聞こえ涼しく感じました。ムム、部屋の中からも大合唱が聞こえる！！こりゃたまらん(*_*)そして3時過ぎには地震(震度2くらい)そんなこんなでボランティア初日の朝は最高のコンディションで迎えることができました。

陸前高田ボランティアセンターについて頃には小雨が降っていて、午後には大雨が予想されるため、今日の作業は午前中までで終了ということでした。

今日の作業は、たんぼわきの草刈りと側溝にたまった泥を取り除く作業でした。しばらく手がつけられていない状態でしたので背丈以上の草や、太い茎の草もあったり刈り取るのに苦労しました。

また、側溝からは茶碗ややかんも見つかりこれがどこかの家庭で使われていたかと思うと、いたたまれなくなりました。

明日も同じ場所で、引き続き作業を進めていきます。

よーし、明日もがんばるさー！

《二日目の活動報告》 9月20日

四国労組白石です。皆さんにご心配頂いているとおり本日の陸前高田の天候は雨で、昨日に引き続きお昼までの活動となりました。そんな中昨日と同じ場所で千厩メンバー全員で草刈りを行いました。私は雑草の花粉症で、少しつらい作業ですが、全員が色々フォローしてくれるので何の心配もなく活動出来ています。また、活動後も男性の部屋にお邪魔し、ブログの更新やおしゃべりをし、交流を行っており女性一人でも快適に過ごせております！出発のとき連合の方が連合ボランティアが現地で受け入れられてる理由について「被災者の心によりそう活動を行ってきたからです。瓦礫やゴミのひとつひとつが津波の前はゴミではなかった。これはゴミじゃないと判断し、持ち主に返そうとする行動が被災者に寄り添う活動として受け入れられています」とおっしゃってました。私も被災者に寄り添うような活動をしっかりしていきたいと思います。また、昨日はお昼から陸前高田、気仙沼の被災地を見学しました。本当に言葉を失う光景がそこにはありました。そこに生活があり、一瞬にしてそれが失われたと感じさせられる物がたくさんありました。明日の作業は雨の影響で中止が決まっています。悔しい気持ちもありますが、私達にはわずかな時間しかありませんが、精一杯活動してきます。たくさんコメント本当にありがとうございます！



《休憩中の風景》



《作業終了後の現場》

《二日目の活動報告および三日目の予定》 9月21日

昨日夕方 連合岩手気仙地区協議会事務局長である吉野さんからお話を聞くことが出来ました。この間新千厩のメンバーが内容について伝えてますので省略しますが、報道だけでは分からなかった現場の様子を知ることが出来ました。そして事務局長からは是非今の話を周りの多くの人に伝えてほしいと頼まれました。目を背けたくないような内容の話もありましたが、私達が帰ってから出来ることとして、しっかり受け止めました。また今後、現地が必要としていることはと聞くと、被災したままで、まだまだ手付かずの場所があり継続したボランティアが必要だということです。



でも、実際に被災した現場を見て怖い、行きたくないと思った人は何十年か経って、復興した町を見に来て下さいとの言葉をいただき、わたしはほっとした気持ちになりました。吉野さんは復興と、その先にある発展を目指して頑張っているらしいです。発展とは、震災後被災地から離れて行った人が再び戻ってくることだそうです。私も少しでもその力になれるよう、今後頑張ります！

つないで陸高！なじょにがすっぺ（四国労組 白石）

昨夜の吉野さんの話は、感慨深いものがありました。地震からの避難、津波、避難所生活、復旧から復興、そして今後発展していくために必要なことを聞きました。

復旧のためにここに来れなくてもいい、物資やお金を送るのだけが支援じゃない、何もできなくていい、その時は見守っていてほしいと話されていました。

今後わたしたちができることを引き続き行い、あたたかく見守っていきましょう。（沖縄労組 比嘉）

ボランティア3日目のにいがた斎藤です。雨です。寒いです。今日は天候不良のため作業中止です。ベースキャンプの片付けを行っています！約半年間ボランティアのメンバーを支えてきた道具達を段ボールに梱包しました。道具達に感謝です。午後からは洗濯を行います！！

《3日目活動報告》 9月21日



《撤収準備作業時の風景》



《菅原支店長からいただいたヤクルトを手に
微笑む斎藤さん》

多くのコメントをいただき、たいへん励みになっています。ありがとうございます。

今日も活動を進めていきたいところでしたが、大雨のため、終日休止となりました。救援活動は、私たちの班でいったん終了となるため、金曜日の撤収に向けて、みんなでBCの撤収準備を行いました。

まだ使用していない手袋やマスクなどが多くあり、それらを搬出し易くまとめたり、掃除をしたりしました。

疲れた体を休ませたり、冷えた体をお風呂で暖めたり、活動の源になるごはんを食べたり、ここ千厩BCにも長い間お世話になりました。

明日の天気も気になりますが、こればかりはどうしようもありません。

そうそう、午後の空いた時間に東北ろうきん千厩支店(BCから徒歩10分)にあいさつに行ってきました！営業中にご迷惑とは思いましたが、沖縄名物サーターアンダギー(Presented by 比嘉)を携えお邪魔させていただきました。支店長の菅原様より、激励の言葉と共に、震災当時の貴重なお話なども頂くことができました。

突然のお邪魔とお仕事中にも関わらず対応して頂いた千厩支店のみなさまありがとうございました！震災の影響は多岐にわたり、お忙しい日々が続くと思いますが、くれぐれも体調には留意してください。東北の復興、そして発展を心から願っています！

(沖縄労組 比嘉、四国労組 白石、新潟労組 斎藤)

《四日目の活動報告》 9月22日



《作業する、齋藤さん、比嘉さん》

いよいよ活動四日目となりました。皆さんに心配をおかけしていた天候もてるてる坊主のおかげで回復し、本日は、大船渡で泥だしの作業を行いました。初めての作業でいろいろ大変でしたが、岩手県北上市の社会福祉協議会が行っているボランティアに参加された方々と共に総勢33名で協力しながら作業を進めてました！ボランティアに参加された方に話を聞くと、北上市ではあまり津波の被害がなかったようですが、御親戚が被害に遭い、少しでも力になりたいと、ずっと活動を続けられているそうです。大船渡のボランティアセンターに向かう途中に見た大船渡の町並み、中学校や小学校の運動場に積み上げられた瓦礫、津波によって破壊された車そして家、陸前高田や気仙沼同様、まだまだ手付かずの場所が見られました。ボランティアに集う仲間、そして私達を応援してくれている仲間の思いと共に、残り二日間頑張ります。皆さんからのコメントをバスでの移動中や、ベースキャンプで5分おきぐらいにチェックしています。同じ思いを共有できることをうれしく思い、また応援コメントを見て励まされます。私の二女、三女？たくさん応援してくれてありがとう！！お姉ちゃんは頑張ります！帰ったらいろいろ話しながらお好み焼きパーティーをしましょう！



《お昼を一緒に頂いた北上市社会福祉協議会のボランティアに参加された皆さん》

《全労金からのご報告》 9月22日

ご支援頂いている皆さんへ

全労金は、本日（9月22日）、第3回中央執行委員会を開催し、10月以降の全労金としての支援対応について検討しました。全労金としては、現在の「連合救援ボランティア」を踏襲した全労金版の「救援ボランティア活動」が継続できないかを検討しましたが、拠点の確保や事務局体制等、課題は大きく、断念せざるを得ませんでした。

ただし、10月以降、新たな支援策として「原発事故からの復興に向けた対応」を目的に、福島における「除染ボランティア活動」への参加や福島物産品の購入等に取り組む方向で準備を進めることを確認しました。10月初旬までに具体的な要領をとりまとめ、改めて単組の皆さんに通知します。

つきましては、既にいくつかのコメントでも出されているように、現在の全労金のボランティア活動については、連合救援ボランティアの終了に伴い、今次20次派遣をもって終了することとします。

事実上、明日（23日）が全労金としての最後の活動になります。比嘉さん、斎藤さん、白石さんには、全国の仲間の思いを胸に、被災地・被災者に寄り添った活動をして頂きたいと思います。

なお、このブログは第20次の3名が帰京されるまで更新しますので、引き続き、組合員の皆さんからのご支援をよろしくお願いします。

ひとまずのご報告とします。

全労金中央執行委員会 書記長 河野哲也

《四日目活動報告》 9月22日

今日の作業は、大船渡にある綾里漁協の側溝からの泥だしとなりました。午前は薄日がさす中行い、午後は小雨が降っていましたが、はじめて午後まで活動することができました。

作業は、北上市社会福祉協議会のボランティアに参加された方々と一緒に行いました。社会福祉協議会の中には、被災された方もおり、中には2週間に一度、参加されている方もいらっしゃいました。その方から休憩の合間にお話を聞くことができました。以下に掲載します。

津波浸水想定区域は概ね逃げたが、過去被害を受けずに済んだ区域も犠牲になった。あんな大きな津波、誰がくると予想できたことか。3月11日以降余震が続いていて、今は怖くなくなった。日本は昔から地震大国で、こんな国と思わないといけませんが、みなが地震になれてしまって、また大きな地震がきても逃げなくなるのが怖い。また、復興しても仕事がなく、若者が出ていってしまっている。前の姿に戻るのには、そうとう時間がかかるだろう。

月曜と火曜に作業を行った依頼主からも同じようなことを聞きました。今後を心配する声が多いと感じています。今後の被災地の発展（被災地から離れて行った人が再び戻ってくる）に向け、皆で支えていきましょう。



《今日の作業現場 津波はこの防波堤を越えていました》



《作業終了後の様子》

《最終活動いってきます》 9月23日

最終日のにいがた斎藤です。「あつと言うまにもう最終日か！」という声を今朝から何度聞いたことか。JAM、JP労組、JR労組、日本製鋼組、セラミック労組、全労金。様々な産別から集まった出身地も年代もバラバラの18人ですが、協力して作業を行うこと、一緒に寝食を共にすること、そしてたくさんのお話をすることで、日に日にチームワークがよくなっているのを感じます。今日は最終日にして初の快晴！連合ボランティア活動を支えていただいている全てのみなさまの気持ちを込めて、連合第24陣メンバー団長真下さん(JAM)を中心に気合いを入れて最後の作業にいってきます！

《活動報告》 9月23日



《作業終了後の現場 奥に月曜、火曜の作業現場も見えます》



《作業前の様子》

最終日の作業を終えたにいがた斎藤です。

今日は陸前高田にて田んぼの草刈作業を行いました。等間隔に並んでカマで雑草を刈りました。快晴のため暑く感じましたが、昼休憩まで黙々と作業を進め、午前中で依頼を受けた場所の1/2は刈り取り終了。昼食のおにぎりを食べながら、「2時までに刈り尽くす！」と、全員の気持ちがひとつになっているのを感じました。午後からは一致団結して作業ペースも上がり、予定通り2時に草刈完了。最高の達成感！気持ちよかったです！疲れも吹っ飛びました！

いざ千厩BCへ。最後の移動。見慣れた風景ともお別れです。

なにはともあれ全員ケガ無く無事に5日間終わることができました。

《無事到着しました》 9月24日

第20次班、無事到着しました。いよいよ最終ブログとなります。みなさんに支えながら、救援活動を行うことができました。ありがとうございました。

今回の活動を通して、被災地の現状を目のあたりにしました。その中で着実に前に進んでいるなど感じることもありました。ネットやフェンスのない運動場で野球の練習をする少年達。駐車場でネットを設置してテニスを楽しむ人たち。数メートル先は津波の被害を受け手つかずの状態だが、津波が到着せず、依然と変わらず野菜を育てている畑。活動中、元気よくあいさつする子供達。飲み物を差し入れしてくれた地元の人。



みんな、ここで一生懸命生きていました。

一緒に活動した仲間は今回の活動を通じて、深い絆で結ばれました。いつになるかは分かりませんが、ここに必ず帰って来ることを約束してお別れとなりました。

つないで陸高！なじょにがすっぺがんがろう 東北！よみがえれ 日本！（沖縄労組 比嘉）

東京に到着し、約半年間第20次まで続いたボランティア活動が無事終了しました。応援頂いた皆さん本当にありがとうございました。私達一人一人の力は大きくありませんが、これまで連合ボランティアとして三万五千人を派遣し、被災地・被災者の心に寄り添う活動が出来たことは復興に向けた一歩に繋がったと思います。また、これまで参加されたボランティアのメンバー、そしてそれを応援してくれた全労金に集う仲間、全員がこの活動を通じてたくさんを感じ、考え、学んだことと思います。これまで本当に多くの人に支えられ、活動を行えたことに感謝しています。しかし被災地では復興に向けてまだまだ支援が必要な状態です。先日ブログにおいて、全労金から新たな支援について報告がありました。今後も被災地・被災者に寄り添える活動を行えるよう、精一杯支援を継続していきたいと思います。最後にいつか必ずまたこの土地を訪れます。それまで前に向かって共に頑張りましょう。（四国労組 白石）

ほんとうにありがとうございました！応援していただいたみなさまに感謝します。そして、今回一緒にボランティアを行ったメンバーと出会えて本当によかったです。この経験を今後に活かしていきます。（新潟労組 斎藤）